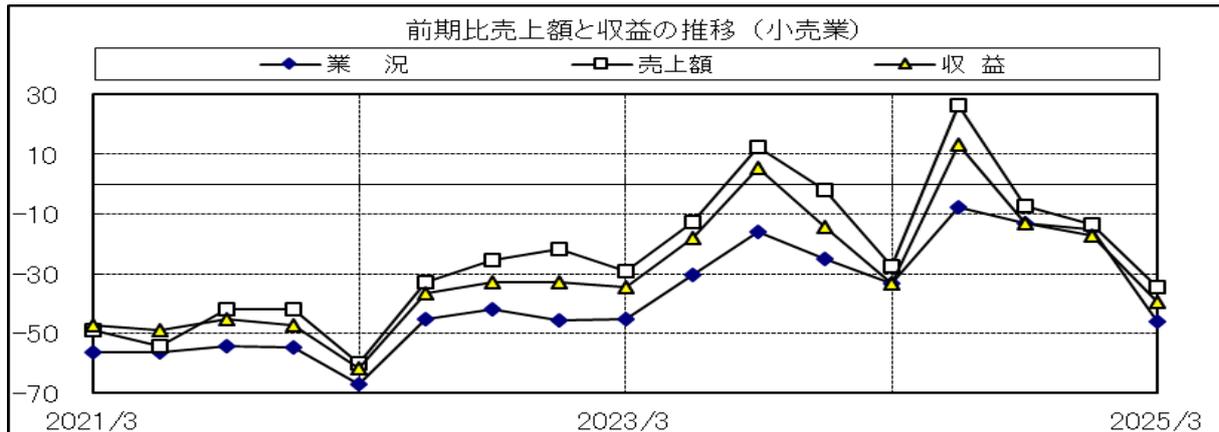


小売業 53企業（回答率 100%）の調査結果です

□ 景況

DI 値 の推移	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月期 実績	4～6月 期見通し
業況	-13.1	-15.1	-46.1	-28.3
売上額	-7.5	-13.3	-34.5	-9.4
収益	-13.2	-17.3	-39.6	-11.3

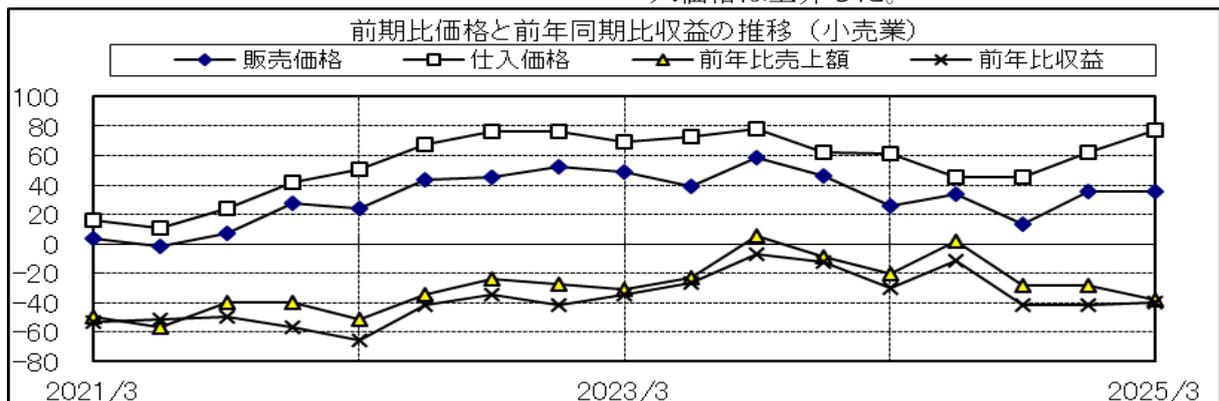
今期の業況判断 D. I. は△46.1 で、前期比 31.0 ポイント下降。前年（△33.3）比では 12.8 ポイント下降。地区別の D. I. は高い順に、静内が最も高く、次に、浦河、三石・広尾が同率で続き、様似・えりもが同率で最も低い水準となった。売上額判断 D. I. は△34.5 で、前期比 21.2 ポイント下降。収益判断 D. I. は△39.6 で、前期比 22.3 ポイント下降した。



□ 価格面の動き・前年同期と比べた動き

DI 値 の推移	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期見通し
販売価格	13.2	35.8	35.7	30.2
仕入価格	45.2	62.2	77.3	66.1

販売価格判断 D. I. は 35.7 で、前期比 0.1 ポイント下降。前年(25.9)比 9.8 ポイント上昇した。仕入価格判断 D. I. は 77.3 で前期比 15.1 ポイント上昇。前年(61.1)比 16.2 ポイント上昇した。業種別では、衣料品は販売、仕入価格ともに下降。食料品は販売、仕入価格ともに上昇。家電品は販売価格は横這い、仕入価格は上昇した。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期見通し
残業時間	3.8	1.9	-5.7	-3.8
人手状況	-15.1	-15.4	-17.0	-15.1

残業時間判断 D. I. は△5.7 で、前期比 7.6 ポイント下降し、残業時間が減少したとする企業割合が増えた。

人手過不足判断 D. I. は△17.0 で、前期比 1.6 ポイント下降し、人手不足感はやや強まった。

□ 設備投資の動き

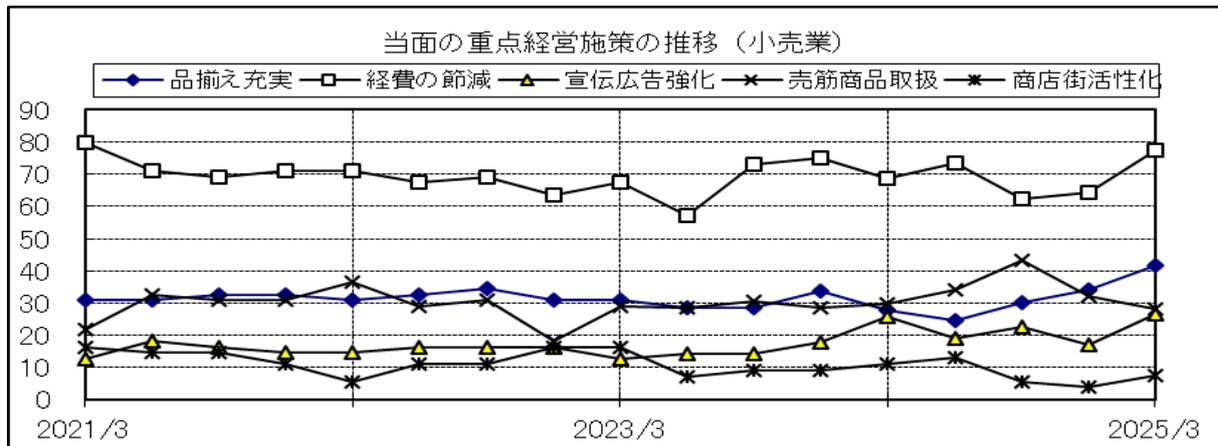
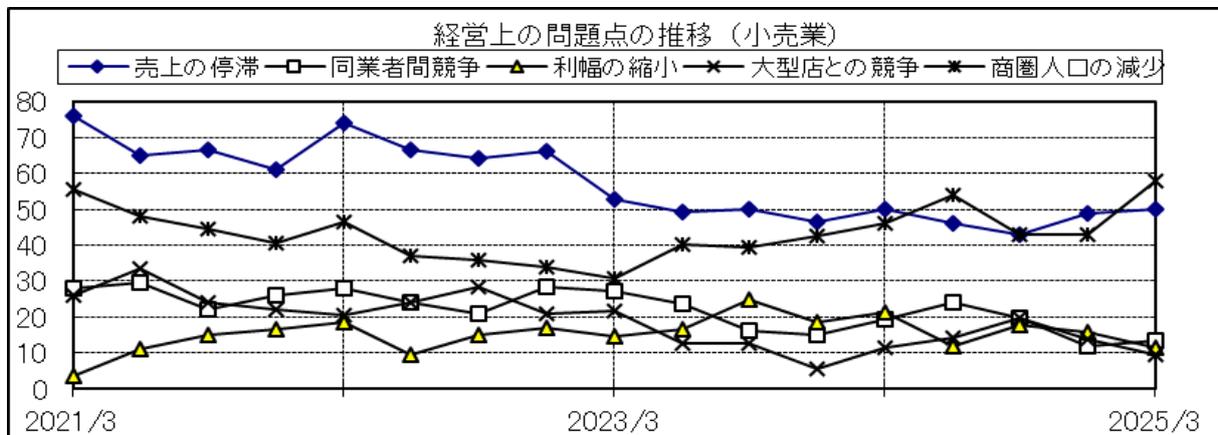
設備投資の充足感を示すD. I. は△15.1で、前期(△15.1)と同水準となった。

設備実施企業割合は1.9で、前期(3.8)比1.9ポイント下降した。備投資は、前期2社に対し1社の実施となった。来期の設備投資は、6社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「商圏人口減少」が57.7%と最も多く、次に「売上停滞減少」50.0%、「商店街集客力低下」21.2%、「値上要請」15.4%、「人手不足」・「同業者競合」が13.5%、「利幅縮小」・「地場産業衰退」が11.5%、「大型店競合」・「販売商品不足」が9.6%、「取引先減少」・「店舗狭隘老朽化」・「天候不順」が7.7%、「人件費増加」・「代金回収悪化」が5.8%、「諸経費増加」が3.8%、「取扱商品陳腐化」・「値下げ要請」が1.9%となっている。

重点経営施策では、「経費節減」が77.4%と最も多く、次に「品揃え改善」41.5%、「売れ筋商品取扱い」28.3%、「宣伝広告強化」26.4%、「人材確保」11.3%、「仕入先開拓選別」9.4%、「商店街活性化」7.5%、「新事業開始」・「機械化推進」が5.7%、「店舗設備改装」3.8%、「営業時間延長」・「教育訓練強化」・「輸入商品取扱増加」が1.9%となった。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は△28.3と、今期比17.8ポイントの上昇を見通している。

予想売上額判断D. I. は△9.4と、今期比25.1ポイントの上昇を見通している。

予想収益判断D. I. は△11.3と、今期比28.3ポイントの上昇を見通している。

予想販売価格判断D. I. は30.2と、今期比5.5ポイントの下降を見通している。

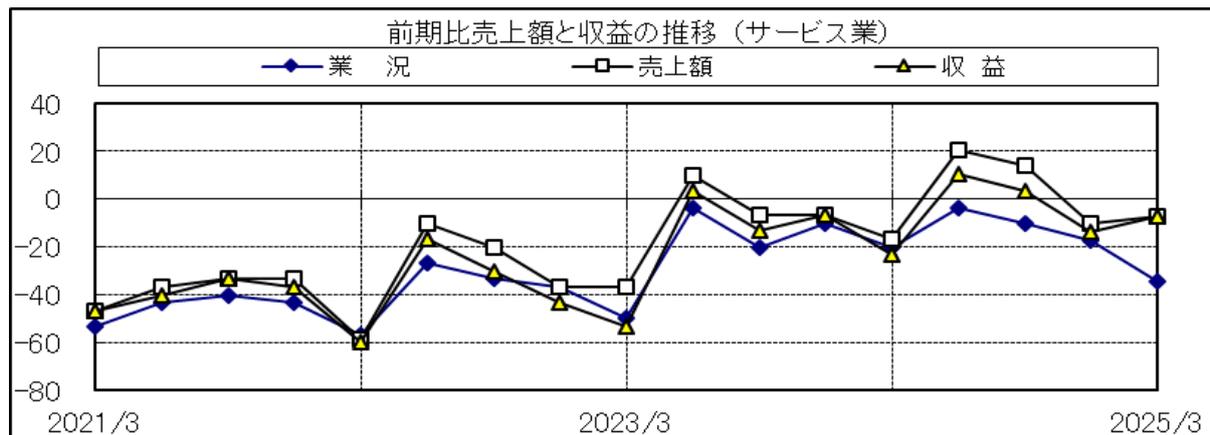
予想仕入価格判断D. I. は66.1と、今期比11.2ポイントの下降を見通している。

サービス業 29 企業（回答率 96.7%）の調査結果です

□ 概 況

DI 値 の推移	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期見通し
業 況	-10.3	-17.2	-34.5	3.5
売上額	13.8	-10.3	-6.9	14.3
収 益	3.5	-13.7	-6.9	3.4

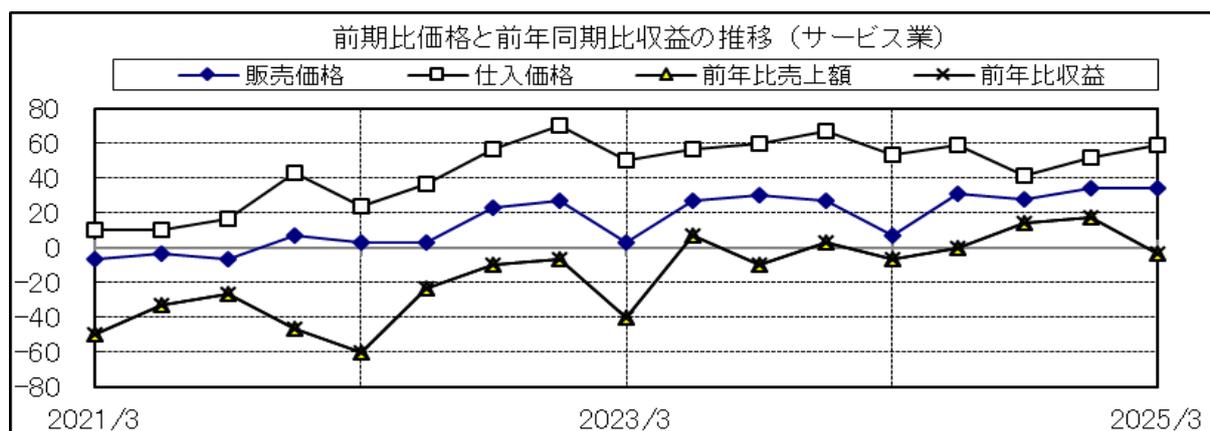
今期の業況判断 D. I. は△34.5 で、前期比 17.3 ポイント下降。前年（△20.0）比では 14.5 ポイント下降した。地区別の D. I. は高い順に、三石が最も高く、次に、同率で静内・えりも・広尾、浦河と続き、様似が最も低い水準となった。売上額判断 D. I. は△6.9 で、前期比 3.4 ポイント上昇した。収益判断 D. I. は△6.9 で、前期比 6.8 ポイント上昇した。



□ 価格面の動きと前年同期に比べた動き

DI 値 の推移	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期見通し
料金価格	27.5	34.4	34.5	27.5
材料価格	41.3	51.7	58.6	58.6

料金価格判断 D. I. は 34.5 で、前期比 0.1 ポイント上昇。前年（6.7）比 27.8 ポイント上昇した。材料価格判断 D. I. は 58.6 で、前期比 6.9 ポイント上昇。前年（53.3）比で 5.3 ポイント上昇した。業種別の料金価格は、旅館業が上昇、洗濯理美容業、自動車整備業は横這い。材料価格は、旅館業は横這い、洗濯理美容業は下降、自動車整備業は上昇した。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期見通し
残業時間	0.1	3.5	-17.3	-10.3
人手状況	-31.0	-20.7	-31.0	-34.4

残業時間判断 D. I. は△17.3 で、前期比 20.8 ポイント下降し、残業時間が減少したとする企業割合が増えた。

人手過不足判断 D. I. は△31.0 で、前期比 10.3 ポイント下降し、人手不足感は強まった。

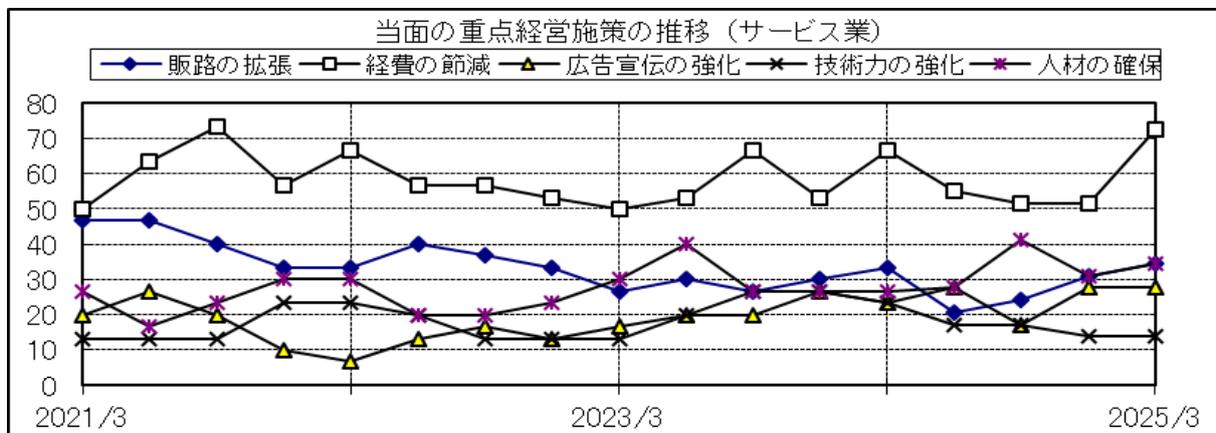
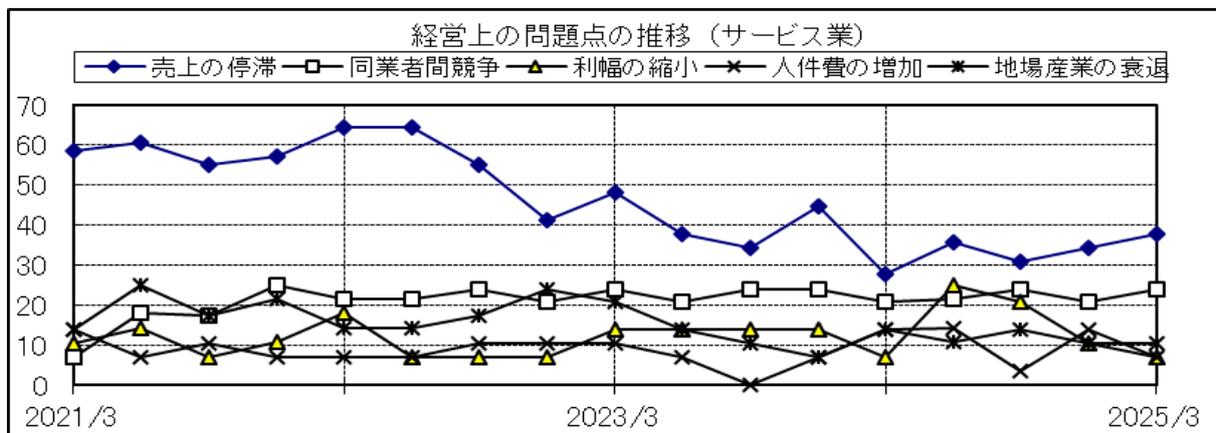
□ 設備投資の動き

設備投資の充足感を示すD. I. は△13.7で、前期比3.4ポイント下降した。
 設備投資実施企業割合は17.2で、前期比6.9ポイント上昇した。設備投資は、前期3社に対し、5社の実施となった。来期の設備投資は、5社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「材料価格上昇」が55.2%と最も多く、次に「商圈人口減少」48.3%、「売上停滞減少」37.9%、「同業者競争」24.1%、「人手不足」20.7%、「地場産業衰退」10.3%、「利幅縮小」・「人件費増加」・「取引先減少」・「店舗設備老朽化」が6.9%、「大手企業競争」・「合理化不足」・「天候不順」が3.4%となっている。

重点経営施策では、「経費節減」が72.4%と最も多く、次に「販路拡大」・「人材確保」が34.5%、「宣伝広告強化」27.6%、「技術力強化」13.8%、「店舗設備改善」・「機械化促進」が10.3%、「提携先開拓」・「教育訓練強化」・「労働条件改善」が3.4%となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は3.5と、今期比38.0ポイントの上昇を見通している。
 予想売上額判断D. I. は14.3と、今期比21.2ポイントの上昇を見通している。
 予想収益判断D. I. は3.4と、今期比10.3ポイントの上昇を見通している。
 予想料金価格判断D. I. は27.5と、今期比7.0ポイントの下降を見通している。
 予想材料価格判断D. I. は58.6と、今期と同水準を見通している。